



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月14日

上場会社名 内外テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3374 URL http://www.naigaiotec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井田 克郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 政彦 TEL 03-5433-1123
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

百万円未満切捨て

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,358	38.1	637	112.4	624	114.8	415	80.1
29年3月期第2四半期	9,672	0.1	300	51.6	290	59.9	231	55.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 450百万円 (93.7%) 29年3月期第2四半期 232百万円 (86.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	166.70	—
29年3月期第2四半期	95.00	—

(注) 平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,683	4,874	29.2
29年3月期	13,149	2,732	20.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,874百万円 29年3月期 2,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,730	23.0	1,143	30.7	1,130	33.0	763	21.7	313.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、[添付資料] 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	2,929,000株	29年3月期	2,536,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,024株	29年3月期	104,724株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	2,495,310株	29年3月期2Q	2,431,643株

(注)平成28年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、国内経済、世界経済ともに、引き続き緩やかな回復基調が続きましたが、世界的には、米国の経済政策運営や地政学的リスクなどから先行き不透明感も残りました。

当社グループの業績に大きな影響を与える半導体・半導体製造装置市場では、中長期的なIoT市場の拡大や次世代技術開発などから半導体需要、半導体製造装置需要は一段と増加傾向となりました。ロジック半導体や3DNAND型フラッシュメモリなどの先端技術への設備投資や、増産体制に向けた設備投資が、引き続き活発に行われたことにより、半導体製造装置メーカーの受注は好調に推移しました。

また、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置市場では、韓国・中国市場を中心に、モバイル機器用の中小型有機EL・液晶パネル向け設備投資や、テレビ用の大型液晶パネル向けの設備投資が、ともに活発に継続したことにより、FPD製造装置メーカーの受注は好調に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことから、売上高133億58百万円(前年同期比38.1%増)、営業利益6億37百万円(前年同期比112.4%増)、経常利益6億24百万円(前年同期比114.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億15百万円(前年同期比80.1%増)となりました。

なお、平成29年8月21日の公表のとおり、新株式発行及び自己株式処分による資金調達を実施しました。この資金により、同日に公表した設備投資計画を着実に実行することで、当社グループの中長期的な成長及び収益力の強化を図るとともに、景気変動に伴う大幅な需要の変動に対応できる財務基盤を確立し、更なる企業価値向上を目指してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①販売事業

半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)及び同装置等の販売事業におきましては、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことにより、売上高122億91百万円(前年同期比37.5%増)、セグメント利益3億91百万円(前年同期比165.7%増)となりました。

②受託製造事業

半導体・FPD製造装置などの組立及び保守メンテナンス等の受託製造事業におきましては、主要取引先である半導体製造装置メーカーからの受注が好調に推移したことにより、売上高20億5百万円(前年同期比63.3%増)、セグメント利益2億38百万円(前年同期比70.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ35億33百万円増加し、166億83百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が24億95百万円、受取手形及び売掛金が2億66百万円、電子記録債権が4億61百万円増加等、流動資産が32億85百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億91百万円増加し、118億8百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が2億36百万円、電子記録債務が13億36百万円増加し、社債及び長期借入金(1年内を含む)が2億91百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ21億42百万円増加し、48億74百万円となりました。この主な要因は、資本金が6億89百万円、資本剰余金が10億21百万円、利益剰余金が3億67百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の20.8%から29.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)連結業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通りであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,100,150	6,595,346
受取手形及び売掛金	5,016,223	5,283,017
電子記録債権	584,777	1,046,750
商品及び製品	660,447	664,981
仕掛品	76,080	72,325
原材料及び貯蔵品	48,277	98,086
繰延税金資産	67,762	66,019
その他	31,411	44,709
貸倒引当金	△3,014	△3,317
流動資産合計	10,582,116	13,867,919
固定資産		
有形固定資産		
土地	878,612	849,185
その他(純額)	620,452	787,874
有形固定資産合計	1,499,064	1,637,059
無形固定資産	100,321	132,271
投資その他の資産	967,567	1,045,771
固定資産合計	2,566,953	2,815,103
資産合計	13,149,070	16,683,022
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,869,846	3,106,238
電子記録債務	3,242,111	4,578,187
1年内返済予定の長期借入金	654,300	576,786
未払法人税等	240,715	236,370
賞与引当金	96,300	107,600
その他	486,719	532,648
流動負債合計	7,589,993	9,137,830
固定負債		
社債	336,000	259,000
長期借入金	1,684,031	1,547,416
繰延税金負債	24,644	41,667
退職給付に係る負債	595,095	617,318
長期未払金	66,850	66,850
資産除去債務	14,101	13,554
その他	106,288	125,216
固定負債合計	2,827,011	2,671,022
負債合計	10,417,004	11,808,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,928	1,079,619
資本剰余金	322,078	1,343,612
利益剰余金	1,925,824	2,293,165
自己株式	△29,185	△564
株主資本合計	2,608,644	4,715,832
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,111	150,581
為替換算調整勘定	8,309	7,756
その他の包括利益累計額合計	123,420	158,337
純資産合計	2,732,065	4,874,170
負債純資産合計	13,149,070	16,683,022

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,672,740	13,358,872
売上原価	8,568,724	11,759,573
売上総利益	1,104,016	1,599,298
販売費及び一般管理費	803,831	961,692
営業利益	300,185	637,605
営業外収益		
受取利息	2,501	2,434
受取配当金	3,001	3,760
受取賃貸料	4,796	2,273
仕入割引	4,249	6,755
その他	6,578	5,199
営業外収益合計	21,127	20,424
営業外費用		
支払利息	27,467	24,220
その他	3,178	9,526
営業外費用合計	30,646	33,746
経常利益	290,666	624,283
特別利益		
固定資産売却益	—	8,573
特別利益合計	—	8,573
税金等調整前四半期純利益	290,666	632,856
法人税等	59,656	216,890
四半期純利益	231,010	415,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,010	415,966

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	231,010	415,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,891	35,470
為替換算調整勘定	△6,172	△553
その他の包括利益合計	1,719	34,916
四半期包括利益	232,729	450,883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,729	450,883
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月5日を払込期日とする、公募増資による新株式334,500株の発行及び自己株式102,700株の処分を行いました。また、平成29年9月25日付でみずほ証券株式会社から第三者割当増資58,500株の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金は689,691千円、資本剰余金が1,021,534千円それぞれ増加し、自己株式が28,621千円減少しました。当第2四半期連結会計期間末において資本金は1,079,619千円、資本剰余金は1,343,612千円、自己株式は564千円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,915,271	757,469	9,672,740	—	9,672,740
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,911	470,884	492,796	△492,796	—
計	8,937,182	1,228,354	10,165,537	△492,796	9,672,740
セグメント利益	147,502	140,297	287,800	12,384	300,185

(注) 1. セグメント利益の調整額12,384千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	販売事業	受託製造事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,250,784	1,108,087	13,358,872	—	13,358,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	41,152	897,239	938,392	△938,392	—
計	12,291,937	2,005,327	14,297,264	△938,392	13,358,872
セグメント利益	391,942	238,733	630,675	6,929	637,605

(注) 1. セグメント利益の調整額6,929千円は、各セグメントが負担する営業費用及び営業外収益の消去差異等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。